

# 絹中だより



発行日 平成28年6月21日  
 発行者 小山市立絹中学校長 柏崎正喜  
 小山市福良 2240-1 TEL 0285-49-0141  
 E-MAIL: kinuj@oyama-tcg.ed.jp

## ふれあい広場

### 地域のお年寄りとの交流

5月26日(木)に絹中伝統のふれあい広場を行いました。この日までに地区理事の皆さんや老人会の代表の方との事前打合せも行いました。また、前日の生徒朝会では生徒会本部役員から、ふれあい広場に出かける上での



【延島下 百人一首】



【下高橋 輪投げ】

注意点を全校生徒に呼びかけました。「大きな声」「コミュニケーション」「奉仕の精神」「親善を深める」「気づき考え実行する」この5点を心掛けることでした。私からは、絹中に通った方に昔の絹中はどんなだったか、絹中の思い出などをお聞きしてほしいことを伝えておきました。16の公民館で行われていますが、昨年と今年で私も全部の公民館を回らせていただきました。どこの公民館でも和やかな雰囲気で行われていることに感謝すると共に、絹地区の皆さんの子どもたちに対する温かさを感じました。今年も、お陰様で子どもたちが素晴らしい交流を行うことができたようです。せきれい祭に展示するまとめ新聞が楽しみです。地域の皆さまには、たいへんお世話になりました。



【中河原 グランドゴルフ】

## 絹中の伝統

### 『新校舎落成記念誌』(H6年)、『創立50周年記念誌』(H9年)から

6月1日(水)に全校朝会を行いました。先月の全校朝会に引き続き、今までの絹中の歴史を生徒と共にとどめてみることにしました。

○ふれあい広場で、おじいちゃんおばあちゃんとグランドゴルフをやりました。お話をして、今と昔の違いが分かり勉強になりました。お母さんの頃は、ふれあい広場がなかったそうです。平成9年5月31日。

○運動会の「青い山脈」は古い伝統があると知り、母に聞いたら母も踊ったことがあると言ってました。運動会にも伝統があると知り驚きました。伝統を感じながら、そして伝統を守るために、踊りたいと思います。

○百人一首大会 絹中では、去年(平成8年)から百人一首のカルタ取り大会が行われています。

○至誠館(剣道場)は、昭和59年4月に完成しました。至誠館の名付け親は、佐藤哲通先生です。

○PTA新聞「紬音」の名付け親は、第12代校長角田始先生です。「絹の子は、生まれた時から紬を織る箎の音の子守歌にして育ち、箎の音は子どもの人格形成に大きな影響を与えたと思います。また紬は、経済上大きなウエートをしめていました。」文字は佐藤哲通先生、図柄は100の亀甲で谷田貝勝先生の考案です。

○輝かしい栄光の記録 (一部)

- ・昭和51年度 ソフトボール 県大会春夏連続優勝
- ・昭和53年度 野球 北関東大会優勝
- ・昭和54年度 ソフトボール 関東大会優勝
- ・昭和62年度 野球 関東大会出場・全国大会出場
- ・昭和62年度 バレーボール 関東大会出場
- ・平成9年度 野球 県大会優勝・関東大会出場
- ・平成9年度 剣道 関東大会出場
- ・平成11年度 剣道 関東大会出場
- ・平成18年度 剣道 関東大会出場・全国大会出場



昭和51年のソフト部  
 県大会春夏連続優勝

絹中の行事からその伝統を確認したり、至誠館や紬音の誕生秘話を知ったり、先輩たちの栄光の記録を改めて確認したりして、連綿と受け継がれてきた絹中の素晴らしい伝統を知る機会となりました。

## 寺野東遺跡クリーン作戦 地域の宝を守ろう！

6月1日(水)に寺野東遺跡クリーン作戦を行いました。出発式で次の話をしました。



生徒会活動で熊本地震への義援金を集めていたことはすばらしい。額の多少ではなく、何かの形で復興に協力したいという皆さんの気持ちが大切です。

クリーン作戦を行う寺野東遺跡は縄文時代の貴重な遺跡で、環状盛土遺構などは全国的にも珍しい。この遺跡を将来に向けて地域の宝として守っていきましょう。作業の途中、絹中生徒会でつくったゴミ捨て防止の看板も見つけました。

☆初めての寺野東遺跡クリーン作戦をやりました。アスファルトのところに食べ物の袋やペットボトル缶が捨ててありました。環境を汚さないために、ごみ拾いを率先してやりたいです。

1年1組 海賀 まほろ

☆3年生になって最初の寺野東遺跡クリーン作戦はクラスの皆が一致団結して、たくさんのゴミを集められたので良かったです。また、この活動をして男女の仲も深まり良かったです。3年2組 松山 亜衣

## AED講習会 心臓突然死 年間6万人！

6月10日(金)に救急手当講習会を行いました。本校では毎年2年生が受講しています。講師は小山消防署絹分遣所、第2係の鈴木昭彦様でした。講話の中で日本全体で年間6万人、学校でも年間50人が心臓突然死で亡くなっているということでした。子どもたちは、いざという時に助けられるように模型人形を使い、心肺蘇生に取り組みました。講師からは「そばにいるあなたしか救えない命がある。」という話を聞きました。私たち大人も含めて、万が一、倒れている人を見たら、勇気を出して心肺蘇生に取り組めるようにしたいものです。



☆今回の講習会では、最初に見たビデオでこんなにも人が命を落としていることが分かり、その後の講習で胸骨圧迫のことやAEDの使い方、いざという時の知識を学ぶことができました。2年1組 佐久間 玲緒

☆AED講習会では、AEDの使い方と共に命の大切さを学びました。もしも今後AEDを使う時があったら、講習会のことを思い出し、勇気を出して落ち着いて使えるようにしたいです。2年2組 坂入 萌樺

## 箏教室 日本の伝統文化を学ぶ

6月7日(火)と13日(月)の2回にわたり、2年生を対象に箏教室を開催しました。事前にお琴を25面ほど小山市から借用しておきました。本校の特別活動室は、畳敷きなので和の文化を学ぶには最適の場所です。講師は、丹野井成寿先生と丹野井弘寿先生、持田井寿廣先生(高橋)、中坪井洸寿先生でした。生徒は「さくらさくら」を習っていました。貴重な経験ができました。



☆私は、今回初めて箏を演奏しました。何度も先生方が優しく教えてくださり、最後にはスラスラと演奏することができました。短い時間でしたが、とても充実した箏教室になりました。2年1組 水野谷 美咲

☆今回は、2回にわたり、「さくらさくら」を演奏しました。伴奏も自分たちで行い、最後はきれいに弾くことができました。箏教室をとおして、日本の伝統文化を学ぶことができ、とてもよい体験でした。

2年2組 添野 日南

## 【 義務教育学校開校に向けて 】



○5月24日(火)コミュニティ・スクール準備委員会を開催しました。義務教育学校では開校から学校運営協議会を設置し、地域の皆さんの意見を反映させていく準備に入りました。保護者や地域の住民が一定の権限と責任を持って学校運営に参画する制度です。学校評議員会よりも意見を反映しやすい制度です。

○6月14日(火)PTA準備委員会を開催しました。PTA本部役員は、中学校で3名・各小学校で男女各1計2名、合計9名でスタートすることになりました。PTA会費・後援会費等の案も決定しました。また、来年度からの廃品回収が話題になり、来年度以降も義務教育学校では廃品回収を実施していくことでまとまりました。回数や回収方法は今後検討していきます。 【 廃品回収は来年度以降も実施！ 】